

平成 29 年度
小地域福祉活動
助成要綱

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

 もくじ

*小地域福祉活動とは	・・・P2
*平成 29 年度 助成概要	・・・P3
○地域ふれあい活動、福祉啓発活動助成金一覧表	・・・P4
○地域ふれあい活動	・・・P5
○福祉啓発活動	・・・P6
○災害時要援護者ネットワーク活動	・・・P7
○要援護者等食事サービス	・・・P8
○地域福祉教育活動	・・・P9
○在宅介護者のつどい	・・・P10
*平成 28 年度小地域福祉活動助成金実績報告書類	・・・P11～14
*平成 29 年度小地域福祉活動助成金申請書類	・・・P15～21
*平成 29 年度小地域福祉活動助成金変更交付申請書	・・・P22



小地域福祉活動とは？

- 住民にとって身近でなじみのある日常生活圏域（自治会や小学校区などの徒歩エリア）で行われる、住民のさまざまな福祉活動の総称をさします。
- 松阪市では、おおむね小学校区を単位とした地区福祉会や住民協議会が中心となり、自治会・民生委員児童委員協議会連合会・老人クラブ連合会・公民館関係者・学校関係者・子ども会関係者等と連携しながら、地域福祉計画を推進するための活動を展開しています。
- つまり、暮らしの困りごとの解決をみんなで取り組んでいこうとする活動であり、下記のような項目ごとに助成しています。

P. 5

地域ふれあい活動

生きがいづくり・健康づくり・文化伝承等に関する交流事業を通じて、地域の絆を深める活動。

P. 6

福祉啓発活動

福祉講演会、学習会、福祉施設の見学等を通じ、福祉に対する理解・啓発を行う活動。

P. 7

災害時要援護者
ネットワーク活動

一人暮らし高齢者や障がい者等を対象とした災害・緊急時の支援体制づくりに取り組む活動。

P. 8

要援護者等食事
サービス

一人暮らし高齢者等を対象とした食事会・配食活動を通じて、地域における見守りの推進を図る活動。

P. 9

地域福祉教育活動

福祉に関する体験学習会等を通じて、子どもたちの福祉の学びを支援する活動。

P. 10

在宅介護者の
つどい

介護技術等の講習会や食事会等を通じ、在宅で介護されている介護者の方々の負担軽減を図る活動。

平成 29 年度 助成概要

1. 趣 旨

松阪市の地域福祉計画事業の達成をめざし、小地域における各種の地域福祉活動に対し助成します。

2. 助成対象団体

地区福祉会、または住民協議会

(ただし、その地区で従来活動していた地区福祉会の地域福祉事業を継承している住民協議会を助成対象団体とします)

3. 助成対象活動の種類

○平成 26 年度より、全ての助成を選択活動としました。

以下の6つの活動のなかで、選択した内容に応じて 助成します。

- ① 地域ふれあい活動
- ② 福祉啓発活動
- ③ 災害時要援護者ネットワーク活動
- ④ 要援護者等食事サービス
- ⑤ 地域福祉教育活動
- ⑥ 在宅介護者のつどい

4. 実施主体

それぞれ地区福祉会・住民協議会が主となって活動を行ってください。但し、活動に応じて、自治会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ、公民館関係者、学校関係者等の地域の各種団体との幅広い連携に努めてください。

5. 注意事項

○選択した活動で、実施計画書の内容と異なる活動であった場合、もしくは助成金が余ってきた場合には返金させていただきます。

○行事における参加予定人数は、前年度の実績より算出し、対象が増える見込みの場合はその人数を加算して申請をしてください。

○申請書の内容を都合により変更しなければならなくなった時は『小地域福祉活動助成金変更申請書』を必ず提出してください。

○助成金の申請受付は、4月より開始します。申請の締め切りは、6月20日(火)までとさせていただきます。

6. その他

○この要綱に定めない事項につきましては、松阪市社会福祉協議会にて定めます。



地域ふれあい活動・福祉啓発活動助成金一覧表

〔地域ふれあい活動〕

類型	助成費限度額	世帯数	備 考
A	150,000 円	7,000 戸以上	3,000円/1回+人数×500円
B	130,000 円	7,000 戸未満	
C	65,000 円	3,000 戸未満	

〔福祉啓発活動〕

類型	助成費限度額	世帯数	備 考
A	80,000 円	7,000 戸以上	3,000円/1回+人数×500円
B	60,000 円	7,000 戸未満	
C	30,000 円	3,000 戸未満	

地 区 名	世 帯 数	類 型	地 区 名	世 帯 数	類 型
朝 見	871	C	機 殿	488	C
阿 坂	777	C	花 岡	10,155	A
射 和	1,479	C	東 黒 部	516	C
伊 勢 寺	1,525	C	東	1,317	C
宇 気 郷	95	C	松 尾	2,043	C
大 石	723	C	松 ケ 崎	685	C
大 河 内	831	C	港	1,808	C
神 戸	5,055	B	嬉 野	8,376	A
櫛 田	1,609	C	米 ノ 庄	1,106	C
漕 代	811	C	天 白	2,548	C
幸	3,140	B	鵠	866	C
第 一	2,071	C	小 野 江	1,577	C
第 二	1,621	C	飯 南	1,988	C
第 四	4,872	B	宮 前	753	C
茅 広 江	268	C	川 俣	533	C
徳 和	5,510	B	森	290	C
西 黒 部	848	C	波 瀬	295	C
橋 西	5,051	B			

平成 29 年 2 月 1 日現在

◆◇地域ふれあい活動◇◆

《趣 旨》

地域において、誰もが参加できる地域での交流事業、世代間交流事業、高齢者・乳幼児・児童への事業、環境美化、文化伝統の伝承に関して地域が取り組む事業等住民相互の絆を深め、住み慣れた地域でだれもが安心して暮らせるように助け合い支え合う地域作りを進めることを目的としています。

対 象：地域住民

実施方法：地域において、住民参加の世代間交流等の交流行事で地域の絆を深め、生きがいつくり・健康づくり・文化伝統の伝承などに関する活動を行っていただきます。

使 途：消耗品費、食材料費など

助成方法：3,000円/1回＋人数×500円

(1) 選択していただくと基本金額として3,000円

(2) 加えて対象者（参加者）1名につき500円助成いたします。

〔 限度額 〕 A：150,000円

B：130,000円

C：65,000円



例えば、このような活動に活用できます

○集 い・交 流

老人と児童の集い、敬老会、カラオケ大会、高齢者（一人暮らし世帯・高齢者世帯）のつどい、もちつき大会、芋掘り、観劇会、ハイキング、保育所・幼稚園との交流会、地域で文化伝統の伝承に取り組む事業、ふれあいサロン等

○スポーツ

親子球技大会、グランドゴルフ、マラソン大会、ニュースポーツ等

○親子行事

親子クッキング、親子映画鑑賞会等

○訪問

手紙や花を添えた高齢者等への友愛訪問等

◆◇福祉啓発活動◇◆

《趣 旨》

地域において『福祉』に関心を持ってもらい、『福祉』とは特別なことではなくとても身近なものであること等を知ってもらえるよう、住民の皆さんへ啓発活動を行うことを目的とします。

対 象：地域住民

実施方法：地域において、福祉講演会、福祉学習会、体験学習会、広報チラシ福祉施設等の見学等を行っていただきます。

使 途：謝金、消耗品費、印刷製本費、食材料費など

助成方法：3,000円 / 1回 + 人数 × 500円

(1) 選択していただくと基本金額として 3,000円

(2) 加えて対象者（参加者）1名につき 500円助成いたします。

〔 限度額 〕 A：80,000円

B：60,000円

C：30,000円



例えば、このような活動に活用できます

○学ぶ

福祉講演会、福祉学習会、ボランティア講座福祉・保健施設の見学、健康講座、手話教室、点字の基礎講座等



○体験する

車イス体験学習会、アイマスク体験学習会盲導犬の役割と体験学習会、擬似体験学習避難所体験講座等

○知る

地区広報誌の発行、文化祭での地区福祉会活動のパネル展示、福祉調査（アンケート）活動等

◆◇災害時要援護者ネットワーク活動◆◇

《趣 旨》

災害時に弱い立場に置かれる障がい者や高齢者など要援護者の方々に対し、地域での助け合いを基盤とした援助活動の促進を図ることを目的とします。

対 象：一人暮らし高齢者、寝たきりや認知症高齢者、高齢者世帯、障がい者（児）、その他必要と認めるもの。

実施方法：行政機関・民生委員児童委員・自主防災組織等と協力し合いながら要援護者を支援するネットワークを形成し、要援護者カルテ・防災マップ・ハザードマップを作成するなど、小地域で災害・緊急時等の対応ができるような助け合い活動を行ってください。

使 途：消耗品費、会議費、謝金など

助成方法：1 地区の上限額は 30,000 円です。



例えば、このような活動に活用できます

○学ぶ

防災訓練にて避難所体験等の実施（HUG、クロスロードなど）
啓発活動（要援護者支援に関する講演会の実施）等



○作る

緊急時の支援体制づくりに関する活動（要援護者カルテ、防災マップ、ハザードマップの作成）等

○実践する

日頃からの地域ぐるみの見守り、声かけ、助け合い活動、
地域を把握するための一環としての活動（タウンウォッチングなど）
地域の安全点検と対策の実施等

◆◇要援護者等食事サービス◇◆

《趣 旨》

一人暮らし高齢者等を対象とした食事会等を実施し、要援護者等とのふれあいを深め、配食時の安否確認や地域における見守り活動の推進を図ることを目的とします。

※1

対 象：一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者、その他必要と認めるもの。

※1 ボランティア・民生委員等の参加者も含む。

実施方法：原則は会食ですが、色々な方法を柔軟に取り入れて下さい。

例えば、見守り訪問を兼ねた配食サービス、保育園・幼稚園・小学校等の協力により手紙を添える等の方法を実施してください。

使 途：消耗品費（調理器具等も可）、食材料費、印刷製本費など

助成方法：3,000円/1回 + 人数 × 300円

(1) 選択していただくと基本金額として3,000円

(2) 加えて対象者（参加者）1名につき300円助成いたします。

※ただし、上限額は250,000円とします。

(例) 6月1日 ひとり暮らし高齢者食事会 参加者：50名
7月1日 障がい者配食サービス 参加者：50名
8月1日 ひとり暮らし高齢者食事会 参加者：50名



3,000円×3回 + (参加人数 150人×300円) = 54,000円



例えば、このような活動に活用できます

○集う

高齢者世帯の集いにおける食事会（ひとり暮らし、ふたり暮らし等）、情報交換会の開催等

○見守る

配食サービス等

◆◇地域福祉教育活動◇◆

《趣 旨》

子どもたちが障がい者や高齢者等、地域に住む様々な人々との出会いを通じて、人との関わりや人とのつながりの大切さを学び、福祉に対する理解を深めることを目的としています。

対 象：児童、生徒を中心とした地域住民

実施方法：教育機関、社会福祉施設と協働するなど、福祉に関する学習会・体験学習等の福祉教育の実践を行ってください。

使 途：消耗品費、教材費、資材費など

助成方法：3,000円/1回 + 人数 × 200円

(1) 選択していただくと基本金額として3,000円

(2) 加えて対象者（参加者）1名につき200円助成いたします。



松阪社協では、地域と共に育む福祉教育を目指し、様々な「福祉教育プログラム」を準備しています。

地域と学校とで一緒に福祉教育を実施していきたいという思いがありましたら、ぜひ地域担当までご相談ください。



例えば、このような活動に活用できます

○交流

近隣の福祉施設との交流、世代間交流等

○学ぶ

認知症や障がい等について学ぶ福祉講座の開催、

○体験する

車椅子等の福祉体験講座、伝統行事や昔遊びの物作り体験、食育体験、昔の暮らし体験等

◆◇在宅介護者のつどい◇◆

《趣 旨》

寝たきりや認知症高齢者・障がい者（児）等の介護者を対象とした“つどい”等を企画し、当事者の介護負担軽減を図ることを目的とします。

対 象：寝たきりや認知症高齢者・障がい者（児）等を在宅で介護している方、その他必要と認めるもの。

※ボランティア・民生委員等の参加者も含む

実施方法：在宅介護者の参加を求め、介護者技術等の講習、地域での助けあい活動への助長、在宅介護者のちょっと一息活動、食事会等を実施し、当事者組織育成へ向けた取り組みを進めてください。

使 途：謝金、消耗品費、食材料費、通信運搬費など

助成方法： 3,000円 / 1回 + 人数 × 500円

(1) 選択していただくと基本金額として 3,000円

(2) 加えて対象者（参加者）1名につき 500円助成いたします。



例えば、このような活動に活用できます

○集う

介護者のつどい（食事会や交流会の開催）

○学ぶ

介護技術等の講習会、身体をほぐすりフレッシュ体操の講座、介護食を学ぶ講座等

平成28年度
小地域福祉活動助成金実績報告書 様式



〔報告書 提出締切〕

H29年4月14日(金)

平成28年度 小地域福祉活動助成金実績報告書

平成29年 月 日

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
会長 田上 勝典 様

名 称： _____

会 長 名： _____ ⑩

平成28年度小地域福祉活動助成金について、関係書類を添えて報告します。

【添付書類】

1. 平成28年度 小地域福祉活動助成金
実績報告書及び収支精算書・・・()部
2. その他 参考になる資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・()部
(領収書のコピーを添付してください)

平成28年度 活動実績報告書及び精算書

<例>

【収 入】

(〇〇〇〇〇福祉会)

区 分	金 額	備 考
地域ふれあい活動	〇〇〇〇〇円	
福祉啓発活動	〇〇〇〇〇円	
災害時要援護者ネットワーク活動	〇〇〇〇〇円	
要援護者等食事サービス	〇〇〇〇〇円	
地域福祉教育活動	〇〇〇〇〇円	
在宅介護者のつどい	〇〇〇〇〇円	
そ の 他 収 入	〇〇〇〇〇円	
合 計	〇〇〇〇〇円	

【支 出】

活動名(行事名)	日付	行 事 内 容	参加人数	精算額	
地域ふれあい活動	4/20	「ふれあい餅つき大会」	〇〇人	〇〇〇〇円	
		材料代			〇〇〇〇円
		事務用品等消耗品費			〇〇〇〇円
	6/8	「スポーツ大会」	〇〇人	〇〇〇〇円	
		賞品代			〇〇〇〇円
要援護者等 食事サービス	5/16	「寿配食サービス」	〇〇人	〇〇〇〇円	
		食材費			〇〇〇〇円
		消耗品費			〇〇〇〇円
	8/15	「一人暮らし老人会食事会」	〇〇人	〇〇〇〇円	
		材料代			〇〇〇〇円
		粗品代			〇〇〇〇円
合 計				〇〇〇〇〇円	

※領収書（コピー）をお願いします。

※合計額は収入と支出が同額になるようにご記入ください。

平成28年度 活動実績報告書及び精算書

【収 入】

()

区分	金額	備考
地域ふれあい活動	円	
福祉啓発活動	円	
災害時要援護者ネットワーク活動	円	
要援護者等食事サービス	円	
地域福祉教育活動	円	
在宅介護者のつどい	円	
そ の 他 収 入	円	
合 計	円	

【支 出】

活動名(行事名)	日付	行 事 内 容	参加人数	精算額
合 計				円

※領収書（コピー）をお願いします。

※合計額は収入と支出が同額になるようにご記入ください。

平成29年度

小地域福祉活動助成金申請書 様式

小地域福祉活動助成金変更申請書 様式



〔申請書 提出締切〕

H29年6月20日(火)

平成 29 年度 小地域福祉活動助成金申請書

平成 29 年 月 日

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
会 長 田 上 勝 典 様

申請者

名 称 _____

会 長 _____ ⑩

下記の助成金について、関係書類を添えて申請します。

助成対象活動

活動名： ()	_____	円
()	_____	円
()	_____	円
()	_____	円
()	_____	円
()	_____	円

【添付書類】

1. 平成 29 年度 小地域福祉活動助成金
実施計画書及び収支予算書・・・() 部
2. その他 参考になる資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・() 部
(事業計画の総会資料等を添付してください)

<例>

平成29年度 小地域福祉活動実施計画書

()

活動名	活動の内容	参加予定人数	実施予定月日
地域ふれあい活動	・老人と園児のつどい ・敬老会 ・一人暮らし老人の集い ・スポーツ交流事業等世代間交流 ※5 ページ参照	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人	△月△日 △月△日 △月△日 △月△日
福祉啓発活動	・福祉講演会、福祉学習会 ・福祉体験学習会 ・福祉、保健施設等の見学 ・地区広報誌発行 ※6 ページ参照	〇〇人 〇〇人 〇〇人 〇〇人	△月△日 △月△日 △月△日 △月△日
災害時要援護者 ネットワーク活動	※7 ページ参照	〇〇人	△月△日
要援護者等 食事サービス	※8 ページ参照	〇〇人	△月△日
地域福祉教育活動	※9 ページ参照	〇〇人	△月△日
在宅介護者のつどい	※10 ページ参照	〇〇人	△月△日

平成29年度 小地域福祉活動実施計画書

()

活動名	活動の内容	参加予定人数	実施予定月日

(例) 平成 29 年度 小地域福祉活動収支予算書

【収 入】 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇会)

助成対象事業名	金 額	備 考
地域ふれあい活動	〇〇〇〇〇〇円	
福祉啓発活動	〇〇〇〇〇〇円	
災害時要援護者ネットワーク活動	〇〇〇〇〇〇円	
要援護者等食事サービス	〇〇〇〇〇〇円	
地域福祉教育活動	〇〇〇〇〇〇円	
在宅介護者のつどい	〇〇〇〇〇〇円	
その他収入	〇〇〇〇〇〇円	
合 計	〇〇〇〇〇〇円	

【支 出】

活 動 名	内 容	参加予定人数	金 額
地域ふれあい活動 ・老人と園児のつどい等	消耗品費 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	昼食食材料費 〇〇〇〇円		
福祉啓発活動	福祉講演会講師謝金 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	事務用品等消耗品費 〇〇〇〇円		
	印刷製本費 〇〇〇〇円		
	食材料費 〇〇〇〇円		
災害時要援護者 ネットワーク活動	消耗品費 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	会議費 〇〇〇〇円		
要援護者等食サービス ・一人暮らし老人等食事会	消耗品費 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	食材料費 〇〇〇〇円		
	印刷製本費 〇〇〇〇円		
地域福祉教育活動	消耗品費 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	教材費 〇〇〇〇円		
	資材費 〇〇〇〇円		
在宅介護者のつどい	講師謝金 〇〇〇〇円	〇〇人	〇〇〇〇円
	消耗品等 〇〇〇〇円		
	食材料費 〇〇〇〇円		
	切手代 〇〇〇〇円		
合 計			〇〇〇〇円

※合計額は収入と支出が同額になるようにご記入ください。

平成 29 年度 小地域福祉活動収支予算書

【収 入】 (備 考)

助成対象事業名	金 額	備 考
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
そ の 他 収 入	円	
合 計	円	

【支 出】

活 動 名	内 容	参加予定人数	金 額
合 計			円

※合計額は収入と支出が同額になるようにご記入ください。

請 求 書

平成 29 年 月 日

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
会長 田上 勝典 様

下記金額を請求します

請求額	円
-----	---

但し、平成 29 年度小地域福祉活動助成金として

住所 松阪市 町 丁目 番地

名 称 _____

会 長 _____ ⑩

振込金融機関名 _____ 銀行・信用金庫 _____ 支店
農業協同組合 _____ 出張所

(フリガナ)

座 名 義 人 _____

座 番 号 _____

※通帳の写し[名義人名(カナ)と口座番号のわかるもの]を添付してください。

平成 29 年度 小地域福祉活動助成金変更申請書

平成 年 月 日

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会
会長 田上 勝典 様

名 称 _____

会 長 名 _____ ⑩

助成金の交付決定を受けた小地域福祉活動助成の助成金交付決定額の変更を受けたいので、下記のとおり申請します。

助成対象事業名	交付決定済額	変更申請額	最終交付申請額
	円	円	円

【変更理由】

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

福祉のまちづくり課

〒515-0073 松阪市殿町 1360-16

TEL 0598-21-1487

FAX 0598-23-3359

E-mail chiikifukushi@matsusakawel.com